

平成 27 年度楠志会役員会 議事録 (案)

日時：2015 年 5 月 20 日 (水) 19:00～21:00

場所：佐賀大学工学部 3 号館 (土木棟) 1 階会議室

参加予定：大塚祥譽、高尾茂、清田勝、宮崎厚志、大串哲也、帯屋洋之、後藤隆太郎、小玉純士、淵上貴由樹、三田圭介

(欠席：田久保松実、天本貴子、鬼塚克忠、古賀六七規) (敬称略)

議題

・ 26 年度事業報告・会計報告 (帯屋理事・後藤幹事)

資料をもとに以下を含み各種事業の報告について説明があった。

*楠志会 40 周年事業 (高尾副会長他)

目的は大きく二つあり、1) 会員の親睦、2) 維持存続にむけた一つの契機。それらを達成することができ、合わせて余剰金を楠志会にストックできたことなどが確認された。

*楠志会 HP の維持更新 (三田幹事、淵上幹事)

資料をもとに、現状について報告がなされた。

さらに、資料をもとに会計報告の説明があり、承認された。

・ 27 年度事業計画・予算 (帯屋理事・後藤幹事)

資料をもとに事業計画および予算の説明があり、承認された。

・ 会員要件 (会則の変更) について (清田理事)

準会員の要件に「在学していたもの」を追記することが提案され、承認された。

・ 楠志会と理工学部同窓会との関係、名簿情報の取り扱いについて (清田理事)

理工学部同窓会と、氏名、自宅住所、勤務先、出身研究室について、情報共有を行うこととし、楠志会としての事務軽減や持続存続を図ることとした。なお、理工学部同窓会に個人情報の取扱いは、楠志会の規則準拠を条件とすること、また理工学部同窓会に対して各種支援や協力を要請することとした。

・ 佐賀大学同窓会県内支部への発起人推薦について (淵上幹事)

資料のもとに説明があり、当同窓生を数名推薦することとした。

・ 役員（平成 26-27 年度）の役割分担について

資料により説明があり、大串理事に監事をお願いすることを確認した。また、各役員の役割により事務等を分担することが確認された。

（文責：後藤隆太郎）